【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第４部門第１区分
【発行日】平成23年5月19日(2011.5.19)

【公開番号】特開2010-270466(P2010-270466A)
【公開日】平成22年12月2日(2010.12.2)
【年通号数】公開・登録公報2010-048
【出願番号】特願2009-121574(P2009-121574)
【国際特許分類】
Ｅ０６Ｂ　5/16　(2006.01)
Ｅ０６Ｂ　1/16　(2006.01)
Ｅ０６Ｂ　3/16　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｅ０６Ｂ　5/16
Ｅ０６Ｂ　1/16　Ａ
Ｅ０６Ｂ　3/16

【手続補正書】
【提出日】平成23年3月31日(2011.3.31)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
長手方向に沿う空洞を有する中空形材からなるサッシ本体と、当該空洞内に充填される耐熱性組成物と、を含んでなる防火性サッシ材であって、前記耐熱性組成物が耐熱性無機粒子と、１００℃～８００℃の温度に加熱されたときに前記耐熱性無機粒子の結合剤として機能する高温結合剤（ただし、レゾール樹脂を除く）と、を含有してなる粒子状または粉末状の組成物であることを特徴とする防火性サッシ材。
【請求項２】
前記耐熱性無機粒子が無機中空粒子を含んでなることを特徴とする請求項１に記載の防火性サッシ材。
【請求項３】
前記耐熱性組成物が、前記高温結合剤で被覆された無機中空粒子を含んでなることを特徴とする請求項１又は２に記載の防火性サッシ材。
【請求項４】
前記高温結合剤が、熱硬化性樹脂及び／又はその前駆体、又はガラスフリットである請求項１乃至３のいずれか一に記載の防火性サッシ材。
【請求項５】
前記サッシ本体が合成樹脂製である請求項１乃至４のいずれか一に記載の防火性サッシ材。
【請求項６】
前記サッシ本体がアルミニウム製またはアルミニウム合金製である請求項１乃至４のいずれか一に記載の防火性サッシ材。
【請求項７】
それぞれ防火性サッシ材で構成された上枠、下枠、および左右の縦枠を有する枠内に難燃性パネルを装着した防火性窓であって、少なくとも前記下枠が請求項1乃至６の何れか一に記載の防火性サッシ材で構成されてなることを特徴とする防火性窓。

【請求項８】
前記難燃性パネルが、上下左右の框を有する障子として前記枠内に開閉自在に装着されてなり、且つ少なくとも前記下框が請求項1乃至６の何れか一に記載の防火性サッシ材で構成されてなることを特徴とする請求項７に記載の防火性窓。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
〔１〕　長手方向に沿う空洞を有する中空形材からなるサッシ本体と、当該空洞内に充填される耐熱性組成物と、を含んでなる防火性サッシ材であって、前記耐熱性組成物が、耐熱性無機粒子と、１００℃～８００℃の温度に加熱されたときに前記耐熱性無機粒子の結合剤として機能する高温結合剤（ただし、レゾール樹脂を除く）と、を含有してなる粒子状または粉末状の組成物であることを特徴とする防火性サッシ材。